

日本織物中央卸商業組合連合会

## 外国人技能実習制度協議会へのご報告

## 1. 自主行動計画等に基づく取引適正化に向けた取組状況について

当団体は東京、名古屋、京都の各地区で織物卸売業を営む、和装、テキスタイル、アパレル、リビングを扱う中小企業を中心とした団体であり、卸売業のため繊維産業全体のサプライチェーンの中にあっては川中の位置づけにあります。

我々団体としてはガイドラインを中心とした、取引適正化を図る実態把握のアンケート調査や適正取引の改善を加盟組合員に向けた情宣に努めてまいりましたが、発注者として今回の事態を真摯に受け止め、加盟企業への更なる指導・改善に取り組んでまいり所存であります。

## 2. 会員企業におけるサプライチェーンの管理状況

組合として調査いたしました、加盟企業が大手から中小にまで及ぶ現状の為、大部分を占める中小の個々の企業の中にあってはサプライチェーン全体を意識した余裕がなく、中間業者の立場として自社の管理基準や相手先要求のレベルに応じて対応しているのが実態でありました。

今後は大手企業が率先してサプライチェーン全体を見渡した管理体制の構築に向け、努力してまいります。

## 3. サプライチェーン全体における技能実習生の受入状況の把握状況

今回のアパレル企業を中心とした調査では、我々団体としては大手企業といえど自家工場を保有している企業は無く、ほとんどが商社を通じた製品仕入や海外縫製仕入でありました。

一部国内縫製業者への発注が存在いたしましたが、交渉は現地ではなく担当者とのやり取りで決定されるため、外国人技能実習生を受け入れている縫製工場であるか、またその実態把握まではできませんでしたので、実態把握に努めてまいります。

## 4. 技能実習の適正な実施に係わる課題

今回問題となっているような外国人技能実習生への賃金・残業代の未払いや労働環境等の問題に関しましては、縫製工場への工賃支払はアイテム、規模、発注数量、納期等の違いにより変化し、相手工場が海外実習生を使用する際の工賃設定かどうかは判断

しかねる部分が多いですが、サプライチェーンの一員として、適正価格・適正工賃を順守するように努めてまいります。

5 技能実習生の適正な実施に向けた今後の業界全体としての取組みの提案

繊維産業全体のサプライチェーンの一員であるとの認識を強く持ち、関係団体との連携を深め、適正取引推進のため協力してまいります。

以上